10年目を迎えた東日本大震災。今だから、話せること。

3.11 tohoku ユースダイヤログ

～東日本大震災のことを知ろう、語ろう～

「3.11tohokuユースダイアログ」では、震災当時小中高生だった若者が、自身の経験や感じてきたことを同世代へ伝える場です。
震災を経験した一人ひとりの声を聴くことで、参加者それぞれが何かを考え、学ぶ機会とすることを目的としています。

●ゲストスピーカー

高橋　未宇さん（たかはし みう）さん
現在22歳。岩手県陸前高田市出身、在住。生まれつきの脳性麻痺による車いすユーザー。当時は小学校5年生。震災から１週間後、盛岡市へ移り、4年間を過ごす。高校入学と同時に帰郷し、現在は介護施設で働いている。

植田　由依（うえた　ゆい）さん
岩手県釜石市出身。小学3年生（9歳）の時に、釜石市立鵜住居小学校にて被災。当時は、逃げる最中に登った山の上で津波の様子を目の当たりにする。自宅が全壊し、3月いっぱい山間の小学校にて避難所生活を送る。現在は宮城県の大学に通っている。

林崎　雪音（はやしざき　ゆきね）さん
福島県南相馬市小高区出身。被災当時は小学五年生。約１年半の間、栃木県などで避難生活を送り、高校時代は小高区復興ボランティアを行っていた。現在は福島大学の四年生で、大学でも災害復興ボランティアの活動を続けている。

石原　優弥（いしはら　ゆうや）さん
震災当時小学校5年生、いわき市から神奈川県大和市に避難。避難した子ども達の学習支援を行う「とどろき・横浜学習室」に通っていた。現在長野県内の大学4年生だが、休学中で東京在住。

●開催概要

日　時　2021年12月16日（木）
18:00-20:30

方　法　Zoom（オンライン）および
岩手、宮城、福島サテライト会場
※サテライト定員　３０名程度

会　場　岩手サテライト
岩手県立大学　コンピューター演習室１
宮城サテライト
東北学院大学ホーイ記念館　H202教室
福島サテライト
福島大学　行政施策学類棟　中会議室

対　象　開催趣旨の関係から10代、20代方を対象とさせていただきます。

参加費　無料

申込方法　下記URLより

申込期限　１２月１３日（月）まで
※岩手県立大、東北学院大、福島大学の学生は当日参加可能です。

＜申込URL＞
・ https://forms.gle/auyjBJvZguVEk6xu9
・QRコード

主催：3.11tohokuユースダイアログ実行委員会
いわて学生ボランティアネットワーク、東北学院大学災害ボランティアステーション、
福島大学災害ボランティアセンター、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）
助成：復興庁コーディネート事業

JCN Japan Civil Network